

平成 23 年度

三重大学 生物資源学部

生物圏生命科学科 海洋生物学講座 卒業論文発表プログラム

日時：2012 年 2 月 17 日

場所：大講義室

9:00-9:05 開会の辞

藻類学 座長：海洋個体群動態学

9:05-9:17

温度、底質がコアマモの生育に及ぼす影響

古森 史晃

9:17-9:29

ヒジキ養殖に関する研究-ヒジキ幼胚の生長におよぼす光の影響-

佐藤 寛之

9:29-9:41

褐藻カジメ胞子体の温度特性

鈴木 裕也

9:41-9:53

植物生長調節剤によるスサビノリ葉状体の生長の制御

野浪 大嗣

生物海洋学 座長：藻類学

9:58-10:10

浮遊性珪藻類 *Chaetoceros* 属休眠胞子の発芽に及ぼす水温と光の影響

浜野 五十二

海洋生態学 座長：生物海洋学

10:15-10:27

田中川干潟における底生動物の群集構造

大島 寛俊

10:27-10:39

田中川干潟における二枚貝類の分布特性

太田 一輝

10:39-10:51

冬季、南極サウスジョージア島周辺海域における
コシナガオオメハダカ（ハダカイワシ科魚類）の餌生物

近藤 楓

10:51-11:03

鳥羽市生浦湾における底生動物群集の特徴

秀島 佑典

海洋個体群動態学 座長：海洋生態学

11:08-11:20

カワバタモロコ導入個体群の追跡調査と今後の保全策の検討

加藤 由祐

11:20-11:32

絶滅水域に移植した天然アマゴ個体群の保全策の検討

桑野 侑樹

11:32-11:44

音響調査による熊野灘海域の資源量推定

小南 歩

11:44-11:56

新潟県のホッコクアカエビ漁業の経済分析～価格決定要因分析と資源管理～

今 俊介

昼休憩

海洋生物化学 座長：生体高分子化学

13:00-13:12

ヤナギモク由来のメラニン生合成抑制物質について

折野 未莉

13:12-13:24

Zannbia 海洋生物由来の持久力向上に関わる物質の探索について

鎌田 紘矢

13:24-13:36

酵母発現系を利用したスサビノリ MAPK の細胞内動態観察の試み

中瀬 麻里

13:36-13:48

紅藻 *Laurencia sp.*成分がマウス由来 3T3-L1 脂肪細胞に及ぼす影響について

濱口 壮平

13:48-14:00

三重県産藻類に含まれる毛髪改善に関わる物質について

前川 紗恵子

14:00-14:12

紅藻尿素トランスポーターの免疫染色による細胞内局在の解明

山中 啓嗣

海洋微生物学

座長：海洋生物化学

14:17-14:29

メガイアワビ *Haliotis gigantea* 消化管からの *Arcobacter* 属の検出および分離の試み

小野 秀幸

14:29-14:41

メガイアワビ消化管からの乳酸産生菌の分離と海藻多糖発酵

杉山 愛子

14:41-14:53

アワビ消化管内共生細菌 *Vibrio halioticoli* のメタボローム解析

知識 まり

生体高分子化学

座長：海洋微生物学

14:58-15:10

アフリカ産ハイギョ *Protopterus annectens* の尿素抵抗性におよぼす夏眠の影響

和泉 裕紀

15:10-15:22

アコヤガイ貝殻の真珠層形成タンパク質 N16.2 のヒト表皮細胞に対する生理活性

中井 美早

15:22-15:34

アコヤガイ真珠層形成タンパク質 N16.5 の機能性化粧品への利用可能性

三刀 仁美

15:34-15:46

アコヤガイ真珠層形成に関連する新規遺伝子群

刑部 侑樹

15:46-15:58

アコヤガイ筋肉タンパク質の遺伝子構造解析

渡邊 大輝

15:58-16:10

ウナギの浸透圧ストレスによる筋肉構造変化の分子メカニズムの解明

小野田 雄基

16:10-16:15

講評・閉会の辞

注意事項

- ・発表形式は、10分講演、2分質疑応答、計12分です。時間厳守をお願いします。
- ・タイムキーパーは8分に1鈴、10分に2鈴、12分に3鈴、ベルを鳴らしてください
- ・ノートパソコンは、各研究室で用意してください。